

科目名	管弦打楽器概論			担当教員	木 許 隆
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED2MIM409
期待される学修成果	基礎教養 教科教育				
アクティブ・ラーニングの要素	実習、フィールドワーク				
実務経験	演奏家				
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	教育現場や管弦楽において用いられる楽器について、様々な知識を身につけ解説できるようになる。				
授業の概要	教育現場、管弦楽に使用される管楽器・弦楽器・打楽器について各楽器の基本原理をはじめ、歴史的背景、形状、演奏方法、構造などを学ぶ。				

授業計画	
第1回	総論、楽音と噪音、楽音の三要素、純正律と平均律の違いなどについて学ぶ。
第2回	木管楽器の基本原理について理解し、木管楽器概論①フルート属について学ぶ。
第3回	木管楽器概論②シングルリード（クラリネット属、サクソフォン属）について学ぶ。
第4回	木管楽器概論③ダブルリード（オーボエ属、ファゴット属）について学ぶ。
第5回	木管楽器によるアンサンブルの形式を学ぶ。
第6回	金管楽器の基本原理について理解し、金管楽器概論①ホルン属について学ぶ。
第7回	金管楽器概論②トランペット属、トロンボーン属について学ぶ。
第8回	金管楽器概論③チューバ 属について学ぶ。
第9回	金管楽器によるアンサンブルの形式を学ぶ。
第10回	弦楽器の基本原理について理解し、弦楽器概論①ヴァイオリン属、ヴィオラ属について学ぶ。
第11回	弦楽器概論②チェロ属、ベース属について学ぶ。
第12回	弦楽器によるアンサンブルの形式を学ぶ。
第13回	撥弦楽器、鍵盤楽器などの基本原理を理解し、各楽器を学ぶ。
第14回	打楽器の基本原理を理解し、打楽器概論①体鳴楽器を学ぶ。
第15回	打楽器概論②膜鳴楽器を学ぶ。授業のまとめ

事前学修	2時間	教科書の内容を一読し、不明な点を質問できるようにする。
事後学修	2時間	授業内容を整理し、理解を深める。
フィードバックの方法	レポート課題、授業内の指導によって、授業内容の習熟度、到達度をフィードバックする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
定期試験	0%	実施しない
レポート	50%	レポート課題において、授業の内容を十分に理解できているか評価する。
上記以外の試験・平常点評価	50%	受講態度、授業に対する意欲などを総合的に評価する。
補足事項		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
楽器学入門	金光威和雄	音楽之友社	9784276124301120000	無
参考資料				